

農林水産省委託研究プロジェクトに参加しました

農林水産省委託プロジェクト事業「柑橘類果皮を利用した抗認知症機能性食品の開発に向けた基盤技術の開発」(平成23～25年度)が、静岡県立大学を中核機関として実施されました。

本プロジェクト事業は、「未利用みかん果皮の抗認知症成分活用技術と高付加価値品種の開発」(農林水産省委託事業;平成20～23年度)のあとを受けて実施されているもので、柑橘類の成分「ノビレチン」が認知症の改善に期待されることに着目し、抗認知症機能性食品の実用化に取り組んでいます。

本プロジェクト事業において、JRJ社は柑橘類果皮から有効成分ノビレチンを効率的に抽出・濃縮し、それを用いて錠剤を作り、臨床試験機関に供給する役割を分担するとともに、ローヤルゼリーの抗認知症効果の研究でプロジェクト事業に参加しています。

農林水産省委託研究プロジェクト

「柑橘類果皮を利用した抗認知症機能性食品の開発に向けた基盤技術の開発」

プロジェクト期間：平成23～25年

中核機関：静岡県立大学

研究総括者：大泉 康（東北大学名誉教授）

共同機関：東北大学工学研究科、東北大学薬学研究科、ジャパンローヤルゼリー（株）、浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター、国立長寿医療研究センター、名古屋大学医学系研究科、(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所、静岡県農業技術研究所果樹研究センター、静岡県経済農業協同組合連合会、TESホールディングス